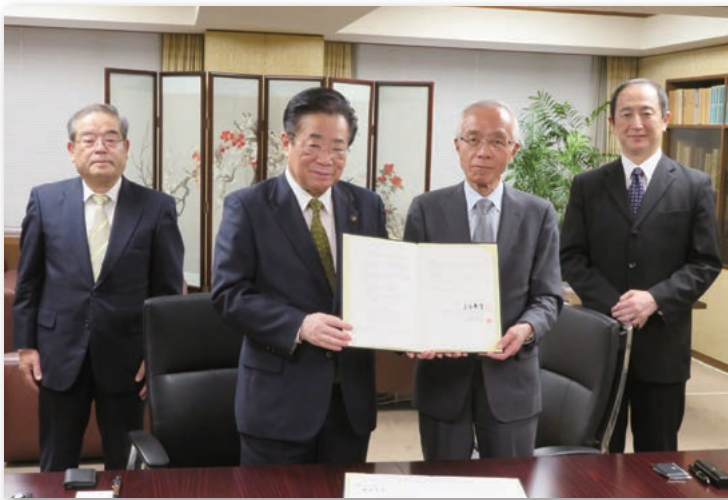


# JPFとの「災害時における連携協力に関する協定」締結について

## はじめに

令和元年12月11日、全国市長会と特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（JPF）は、11月の防災対策特別委員会（委



協定書を手にする立谷会長と永井・JPF代表理事

員長・大西・熊本市長）で了承された、地震、風水害等の災害により被災した市および特別区への支援に関する「災害時における連携協力に関する協定」を締結した。

本協定は、全国の市区長間の災害対応ネットワークを有する全国市長会と、関連企業・NGO等との連携による被災地支援にノウハウを持つJPFとの間で、関連企業・NGO等からの被災市区への支援が迅速かつ適切に行われるよう、必要な連携協力に関する事項を定めたものである。

具体的には、①まず、被災市区（被災者）が必要としている物資等の要請内容を全国市長会が把握し、その内容をJPFに要請する。②要請を受けたJPFは、被災市区長と要請物資等支援内容を直接協議し、対応可能な要請事項を整理する。③その後JPFは、関連企業・NGO等に対し、支援物資、輸送手段等の支援を呼びかけ、調整を行うこととなる。この一連の流れにより、JPFの関連企業・NGO等から被災市区に、直接、迅速かつ適切に支援が行われる仕組

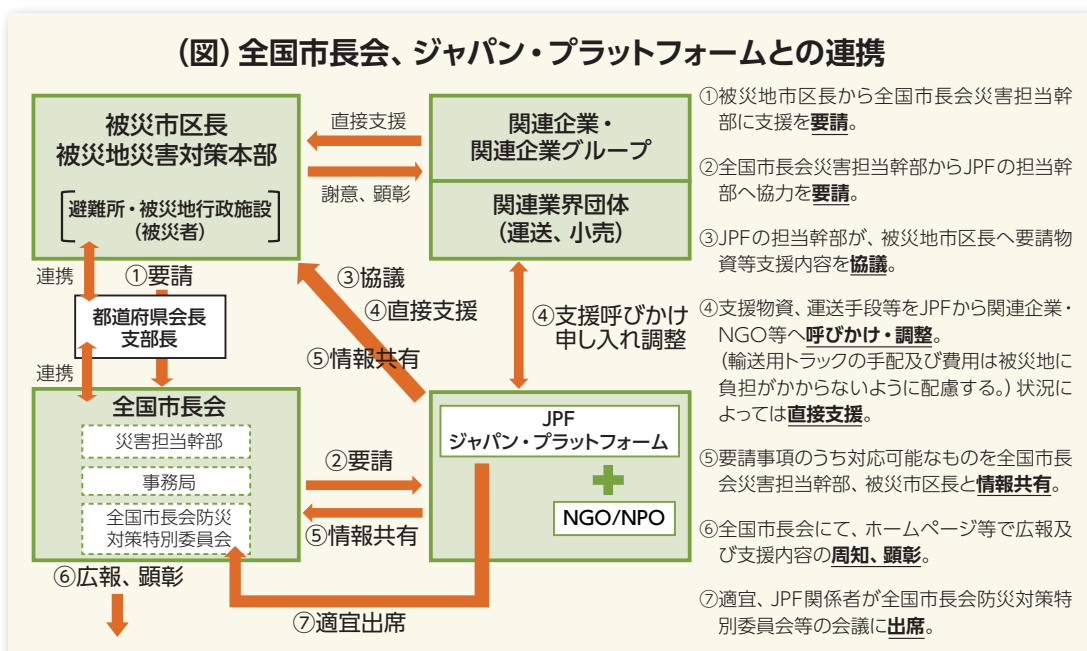
みが構築されることになる。（図を参照）

## 協定締結式

全国市長会内で行われた協定締結式では、立谷・全国市長会会長ならびに永井・JPF代表理事による協定書への署名の後、両代表による挨拶が行われた。

立谷会長からは、「東日本大震災をはじめとする厳しい経験の共有を図るとともに、その経験を踏まえた政策形成をしていく必要がある。人命、財政、自治体の成り立ち等の全責任を負わなければならないのは地方政府の長である市区長であり、首長を中心に災害対策の現場が動いていることを自覚しなくてはいけない。その上で、JPFという強力な援軍がいることは、大変心強く、支えになると考えられる。全国の市区長はこのことを踏まえて、平時から連携を深めていくことが、災害対策の大きな戦略となる。さらに、自らの財産の一部を篤志として被災地支援いただいた企業・団体等に対しては、きちんと感謝の気持ちを示す

(図) 全国市長会、ジャパン・プラットフォームとの連携



ことが重要であり、お礼を通じた気持ちの交換をすることが、支援いただいた企業・団体等との連携につながる」との挨拶が

あった。  
 JPFの永井代表理事からは、「JPFは平成13年の発足以来、政府と、経済界、民間NGOがともに協力するとい

うネットワークを創出し、総額600億円以上、1500事業を超える国際緊急人道支援活動を55の国と地域で展開してきた。また、平成23年の東日本大震災へのこれまでのさまざまな支援や、昨今の日本での激甚災害に対し、JPF加盟の43のNGOは、それぞれの専門性と実践の経験を生かし、初動人命救助、医療、物資配付等の緊急支援から始まり、避難所の設営や運営支援、地域の行政区分を超えた広域連携の支援ネットワークのハブ機能、そのための企業・諸団体との連携、さらには被災された方々の精神面での支えなど、さまざまな活動を続けている。これらの活動に当たっては、個別の被災現場における適切なニーズ情報と迅速な支援のマッチングが重要であり、発災当初の刻一刻と変化する現場ニーズの情報を持つ全国市長会と、今回の協定が締結されたことで、ニーズと支援物資、物流ならびに専門的支援情報、サプライサイドが一体となって機能する体制が実現する

意義は大きい。今後とも、実効ある防災と災害支援の体制がさらに強化・確立されることを願っている」との挨拶がなされた。

### 全国市長会の防災対応について

全国市長会では、これまで、①各支部内における都道府県会長等や、全国の支部長相互間の携帯電話番号の共有による物資、職員派遣等の調整を行う緊急連絡網の整備(全国市長会ネットワーク)、②国土交通省(地方整備局長とのホットラインによる物的・人的支援の要請の仕組みの構築、③日本弁護士連合会との協定に基づく法律相談実施の仕組みの構築、④内閣府の災害関連情報の共有の仕組みの構築など、平成30年7月11日に設置した防災対策特別委員会を通じて、災害対応の仕組みを整備してきた。

今回締結したJPFとの災害時における連携協力に関する協定は、これまでの全国市長会の防災対応の取り組みをさらに強化するものであり、今後の災害時対応の大きな力になることが期待されるものである。

なお、全国市長会としては、これまでの各市区からの被災地への支援内容の公表に加え、全国市長会ホームページにおいて、ご支援いただいた企業・団体名、支援内容を公表することにより、広く広報、顕彰することとしている。